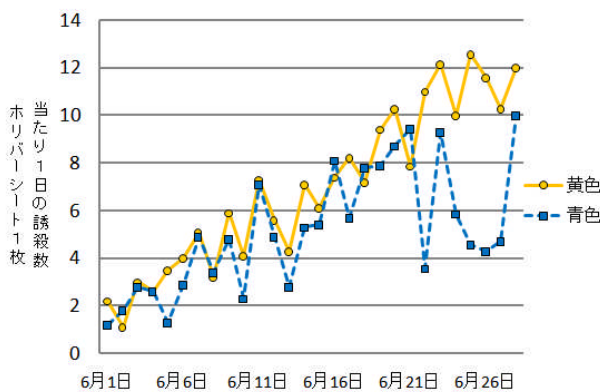
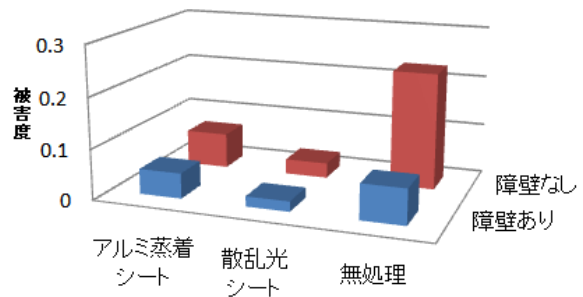


# 色や光を利用したハムシ類防除法の開発

コマツナ、ミズナ、チンゲンサイ等を加害するキスジノミハムシや宿根アスターを加害するウリハムシには適切な登録薬剤が少なく、防除に苦慮しています。そこで、これらのハムシに対する揮発性誘引物質や色に対する忌避反応等について検討したところ、キスジノミハムシのモニタリングや防除に黄色シートが利用できることがわかりました。施設栽培では、防虫ネットの展張、出入り口の障壁、光反射シートを組合わせた防除法が有効でした。宿根アスターでは、うね間全面にアルミ蒸着シートを設置する方法が効果的であり、この方法を小川町で実証展示し、ウリハムシ成虫の被害を軽減することができました。

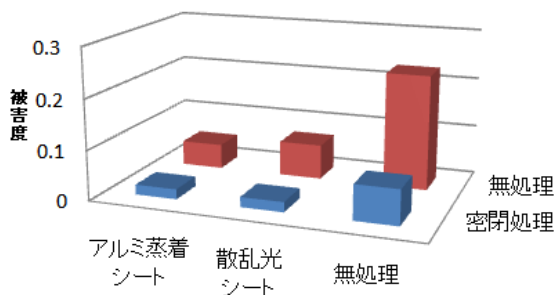


コマツナほ場における粘着トラップによるキスジノミハムシの誘殺数の



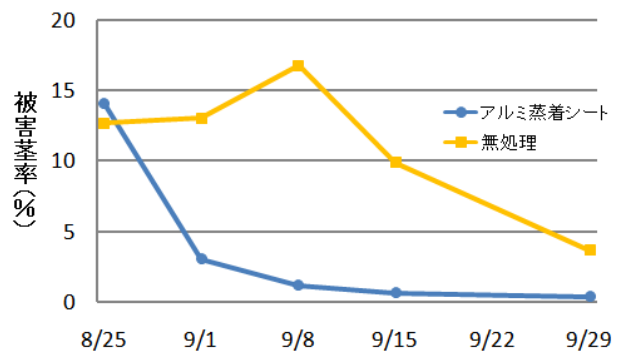
コマツナ施設栽培における光反射シート及び障壁のキスジノミハムシに対する処理効果

障壁として出入り口に高さ30cm程度のビニールを、光反射シートは施設周囲にそれぞれ設置した。



コマツナ施設栽培におけるシートの設置及び作期間の蒸し込み処理のキスジノミハムシに対する効果（2作目）

各種シートは施設周囲に設置し、密閉期間は7月27日～9月18までとした。



宿根アスターにおけるアルミ蒸着シート設置によるウリハムシの被害軽減効果

小川町青山において、1区100㎡、反復無しで行った。8月25日にアルミ蒸着フィルムを設置し、9月15日及び10月6日にそれぞれコテツフロアブル及びディプテックスを処理した。